

地域に根差した葬祭事業

未来を耕す
ファンづくり
選ばれるJAを目指して

JA常陸

【常陸】JA常陸葬祭部は、笠間市、ひたちなか市、那珂市、常陸大宮市、大子町、常陸太田市、高萩市、日立市、北茨城市を管内とし、13の葬祭会館を拠点に地域に根差した葬祭事業を展開している。同部の葬儀取扱件数は約1800件に上る。支えるのは29人の1級葬祭ディレクターをはじめとする経験豊富な職員だ。宗旨・宗派を問わず、家族葬から社葬まで、一件ごとに遺族の思いをくみ取って葬儀を組み立てる。

思い寄り 添い 柔軟に

日立鞍掛山葬祭場を前に、遺族に寄り添った葬儀を行うJA常陸葬祭部各地区の所長ら



多様な葬儀形態にも柔軟に対応している。葬儀の施行にとどまらないのが総合事業を持つJAの強みだ。終

活や相続、事前相談にも幅広く対応し、本人や家族が安心して将来に備えられるよう支える。昨年度は新たに「提灯（ちようちん）供養祭」も企画。盆で役目を終えた盆ちょうちんをたき上げる催しで、思い出の品を供養する「人形供養祭」とともに、組合員や地域住民が集う場となっている。

外岡悟葬祭部長は「葬儀は組合員や地域住民とJAを結ぶ大切な接点。『安心・信頼・真心』を基本の一つのお別れに向き合い、地域から選ばれた葬祭事業を目指したい」と話す。